

激動の10年間

**2007年に迎えた30周年以降からの10年間で、
東京理科大学体育局ソフトボール部は
日本一へ向けて、さらなる進化を遂げた。**

丸山監督から柳田監督へのバトンタッチ ～年表で見る二人の歴史～

「熱意と誠意は人心を動かし協力を生む」丸山克俊先生が築き上げてきた東京理科大学体育局ソフトボール部は、柳田信也先生に引き継がれました。お互いの熱意と誠意に触れ、共通の目的のために協力をしていったお二人の姿の一端が少しでもお伝えできれば幸いです。

【柳田 信也 先生略歴】

2001年:埼玉大学卒業
2003年:埼玉大学修士課程修了
2007年:東京都立大学大学院博士課程修了
2008年:国際学院埼玉短期大学 専任講師
東京理科大学 非常勤講師
2015年:東京理科大学 講師



1999 風呂場での出会い

関カレが開催された茨城県にある国民宿舎つくばねの大浴場で二人は偶然一緒になった。グラウンドで見かけることはあっても会話したことのなかった丸山先生に学生柳田が挨拶をすると、「あなたはおそらく体育の専攻だね?いい目をしている!教員になるといい!!」とアドバイスを返ってきた。このときは大きな声のこの男に世話になることになるとは学生柳田はもちろん予想だにしていなかった。

2001 日本体育学会での会話

埼玉大学を卒業し大学院に進んだ学生柳田は、北海道大学で開催された日本体育学会に参加。シンポジウムでバンバン発言をしている人物が2年前に風呂場で出会ったあの男だとわかるのにそう時間はかからなかった。挨拶に向かった学生柳田に対し、「ソフトボールを専攻する大学院生を応援する!」と文武両道の学生をたたえた丸山先生はその時の会話を覚えており、同年のチャレンジカップで埼玉大学のベンチまで学生柳田を激励にやってきた。非常に好感をもった学生柳田は丸山先生と連絡をとるようになり、ここから二人の関係が本格的にスタートした。

2006 運命の再会



当時、東京都立大学大学院 博士課程を修業中だった学生柳田は、埼玉大学の女子ソフトボール部監督を務めていた。ソフト部の低迷ぶりを気に病んでいた彼は、理科大のインカレ出場のニュースを聞きつけ「勉学の大変な理科大においてどうやったらそのようなチーム運営ができるのか?」と丸山先生にメールを送った。

丸山先生はこの質問に対し大変喜び、会って話をしようとの会合(with第8代 滝川治さん)を持ち掛け、池袋駅前の服部珈琲舎での再会が実現した。

当時OB会副会長であった滝川氏が同席したのは決して偶然ではない。運命の歯車が動き出した。



2008 理科大就任

理科大の非常勤講師が急遽退職することになり、ソフトボールを専攻実技にできる人物を探していた丸山先生。

それまでの交流を通してその好青年ぶりに惚れ込んでいた柳田先生に連絡を取ったが、彼は国際学院埼玉短期大学に着任したばかりだった。それでも「専任講師ということは、非常勤には出られるのかな?」と非常勤講師としての就任を要請し、「着任早々、非常勤で掛け持ちをすることはできません。」と断る柳田先生を「どうしてもお願いしたい。場合によっては私が理事長に挨拶に行く」と熱く説得した。関係各位にも丸山先生の熱意が通じ、柳田先生の理科大非常勤講師就任が決まった。出会いから約10年。体育専攻の大学においてもめったに現れない、ソフトボール専攻で博士号を有する指導者を獲得した意味は、理科大ソフトボール部にとってとてつもなく大きかった。こうして「日本一のロマンを求めて」丸山先生と柳田先生の二人三脚が始まった。



2009 練習初参加



非常勤講師として就任した柳田先生を学内指導員として練習に参加させることにした丸山先生。

「柳田先生は研究員で結果を出さなければいけない立場でお忙しいが、来られるときには来て下さる」と学生に話し、これから少しずつチームに参画していく意向を告げる。

当時練習にいたOBいわく、人数が足りず紅白戦のライトをやることになった柳田先生は丸山先生から「普段鍛えてないと思うから無理しないように」と念押しされたにも関わらず、三塁打級のライト線の打球を必死に追いかけ、肉離れで途中退場…。

また、練習中一番ピリッとしている丸山先生の円陣にて花粉症全開でくしゃみとセキが止まらず、なんとなく失礼な感じになってしまったり、「君たちはせやがしまいんだよ!! (視野がせまいんだよ!!)」という丸山先生のカミカミトークに吹き出してしまったりと「この人はほんとに大丈夫なのだろうか？」と現役部員に感じさせてしまうスタートだったようだ。

2010 富山インカレ出場



2011 リーグ戦初優勝



創部34年目のこの年、春季リーグ戦で全勝し、関東大学Ⅰ部リーグ戦で春秋通じて初優勝を成し遂げる。快挙の裏には、柳田先生の活躍があった。研究で忙しい中、頻繁に練習へ参加し、合宿や遠征先では学生とのコミュニケーションをとることを惜しまなかった。学生と丸山先生とは親子以上の年齢差があるが、柳田先生は良き兄貴分であった。歳が近い分、部の在り方やチームの考え方、技術で悩んでいることなどの相談がしやすかったこともあり、今まで以上に学生はソフトボールを深く考えるようになった。そこにはライト線で肉離れした彼の姿はなく、誰もが信頼するチーフコーチの姿があった。

2011 柳田新監督誕生



同年の9月、東京・王子の居酒屋で二人は飲んでいった。丸山先生から監督を打診された柳田先生は「先生の代わりはできません」と回答。それを聞き丸山先生は「完璧な回答だ。ぜひ監督になってほしい」とさらに説得を続け、「監督といっても私が31番で残るので心配いらない!」との言葉を受けて、柳田先生が承諾した。丸山監督の後継者となる柳田新監督が誕生した瞬間だった。

2012 ~バトンタッチ~



柳田新監督就任激励会/丸山先生慰労会

2012年1月14日

※その時の様子は次ページ以降参照

2015

～バトンタッチ～

丸山克俊先生 感謝慰労の会
(最終講義/感謝慰労パーティー/引退試合)

2015年3月21～22日

※その時の様子は次ページ以降参照



～バトンタッチ～

柳田先生 顧問就任

2016/2017

2016年：鹿児島インカレ出場

2017年：岡山インカレ出場



2012年1月14日 三井ガーデンホテル柏
柳田新監督就任激励会/丸山先生慰労会

2011年9月1日をもって丸山克俊先生が東京理科大学体育局ソフトボール部の監督(30番)を退任され、新たに柳田信也先生が監督に就任されました。

柳田信也先生は埼玉大学ソフトボール部ご出身で33歳(2012年当時)のナイスガイです(現在は東京理科大学理工学部教養で専任講師の任に就いておられます)。」

柳田信也新監督を応援・激励し、併せて、丸山克俊先生の監督としての長年の労に感謝の意を表し、激励会/慰労会が開催されました。



新旧監督と天野充敏さん(学外指導員)と丸山俊太郎さん



丸山前監督



柳田新監督



OB会長(2012年当時)
瀬谷光俊さん(5代)



OB会副会長 野呂 匡さん(4代)



OB会幹事長(2012年当時)
高尾浩司さん(9代)



森高紘平さん(28代)



柳田先生のプロフィール紹介



プレゼンを聞く先生方



記念ムービーを見る現役・OB



エールを送る宮下翔太主将(34代)



2015年3月21日 東京理科大学野田キャンパス 講義棟504教室

丸山克俊先生 最終講義

丸山克俊先生が2015年3月31日をもって東京理科大学をご退職されることになり、丸山先生のこれまでのご功績とご指導に感謝の気持ちを込めて、私たちににとって第二の故郷とも言える東京理科大学野田キャンパスにて、「丸山克俊先生 感謝慰労の会」が開催され、丸山先生の最終講義「グラウンドで学ぶ人生の知恵」、感謝慰労パーティー、引退試合が実施されました。感謝の気持ちとしてレリーフ(裏には球友たちの名前入り)を贈呈させていただきました。



登壇する丸山先生



講義する丸山先生と聴講するOB



講義する丸山先生と聴講するOB



広井武昭先生（名誉顧問）



堀戸重臣先生（名誉顧問）



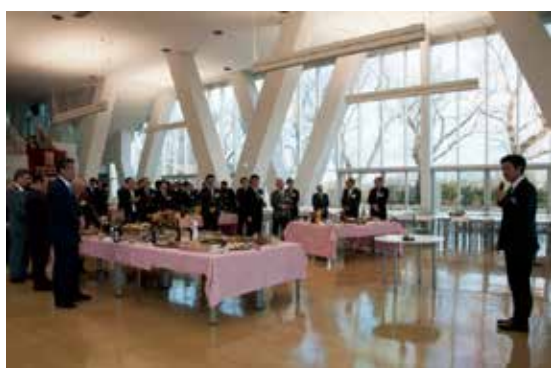
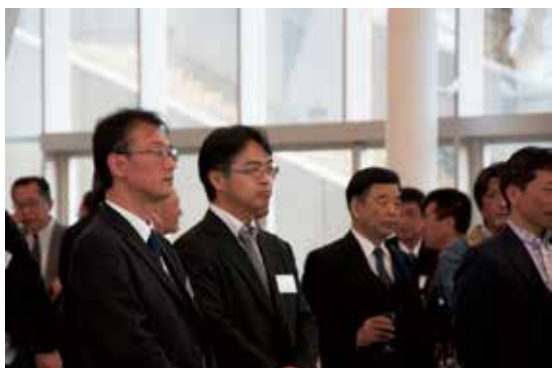
感謝レリーフ

最終講義はYouTubeで受講可能です。右のQRコードからアクセスしてください。



2015年3月21日 東京理科大学野田キャンパス カナル会館
丸山克俊先生 感謝慰労パーティー





感謝慰労パーティーの様子はYouTubeでご覧いただけます。
右のQRコードからアクセスしてください。



2015年3月22日 東京理科大学野田キャンパス 第一ソフトボール場

丸山克俊先生 引退試合

最終講義/感謝慰労パーティーの翌日に丸山先生の引退試合が行われました。数多くのOBが集まり、現役時代の歴代のユニフォームや幹部代で作成したTシャツなどがグラウンドを彩りました。

引退試合のルールは以下の通りに執り行われました。

- ①投手・丸山先生は、現役部員をバックにして、OB軍と対戦する。
- ②約60名参加の全OBと対戦するため、2試合を行う。
- ③投手・丸山先生の投球は、すべて2ストライクからとするが、3アウトではなく5アウトゲームとする。
- ④OB軍の投手は、現在も現役として投げている場合は、1ボール1ストライクからとし、そうでない場合には、丸山先生と同様2ストライクからとする。ただし、アウトカウントは3アウトとする。

第1試合は現役チームの打線が爆発し、16対1(3回コールド)で現役チームの勝利、第2試合は接戦になりましたが、現役チームが最大3点差を逆転し、11対9で勝利。丸山先生が2試合連続で勝利投手になられました。この日、丸山先生は5アウトを10イニング投げ切れ、50アウトを取り、四死球ゼロの素晴らしいピッチングでした。

試合後には、これまでの感謝を込めてマネージャー陣から花束が贈呈され、最後は全員で丸山先生を胴上げして締めくくられました。



丸山先生と朝の挨拶をする司会の中山翔さん（33代）



全員でアップ



現役部員



OB軍



OB軍ベンチ



試合で投げる丸山先生



試合の様子



表彰式



MVP賞の関根洋佑選手（37代）



マネージャー陣と記念撮影



みんなで胴上げ
引退される丸山先生

